

参考様式（意見書）

令和4年9月1日

栃木市長 大川 秀子 様

都賀地域会議
会長 大塚 紀通

意見書の提出について

栃木市地域づくり推進条例第4条第1項の規定により、下記の事項について、別紙のとおり意見書を提出します。

記

- 1 つがの里公園の施設改修計画について

意見書

都賀地域会議

事項	1 つがの里公園の施設改修計画について
----	---------------------

意見内容

つがの里は、都賀地域唯一の優れた観光資源であります。平成30年3月つがの里総合公園基本計画を策定し、令和3年3月23日の地域会議において情報提供され、現在事業は延伸となっておりますが、本計画につきましては、国庫補助事業（大型遊具の更新）の導入や、民間事業者の活用の可能性について検討し、市の財政負担を考慮した計画として再度研究してまいりますので、当面のお時間を頂きたいとの説明でありました。

都賀地域会議では、つがの里公園に関連した地域予算関連事業を実施しておりますが、地域予算では対応できないものも多くあるのが実情であります。市の公園維持管理として、下記の取り組みについて都賀地域会議の総意として意見書を提出いたしますのでご検討願います。

① ハス池再生事業

平成28年度より地域予算を活用し継続事業として実施し令和4年度で7年目に入りますが、現在の進捗状況では今後10年程度（通路で仕切られた箇所までは4年程度）の実施が必要と言われております。市事業として継続されるよう検討願います。

② つがの里駐車場の区画線引き直し事業

当会議の令和5年度地域予算提案事業を活用し、予算の範囲内で第3駐車場及びその他の駐車場の区画線引き直しを行うことが決定したところであります。つきましては、今後継続して実施されるよう検討願います。

③ つがの里の案内看板更新事業

園内の看板（金・銀の池、華巖寺跡、その他）、ふれあいの森の展望台などに存置する案内看板や説明看板が老朽化、破損により案内の目的効果が無くなっております。改修について検討願います。

④ ファミリーパーク内の消防自動車の撤去（更新）事業

公園設置後、2回にわけて消防車2台を導入し展示しているところでありますが、経年劣化により相当傷んでおり、破損も多く見受けられるた

め、子どもたちにとっては大変危険な遊具となっております。撤去（更新）について検討願います。

⑤ ファミリーパーク内の遊具（バッテリーカー）の更新事業

平成 22 年に導入されたバッテリーカー 5 台の塗装剥がれや錆び等による老朽化が進んでいるところであり、安心・安全に利用できない状況であります。当地域会議においても令和 6 年度以降に 1 台購入を検討しているところでもありますので、今後は市事業として継続的に更新できるよう検討願います。

⑥ 体験交流館等の利活用

週 2 回の陶芸教室の例会やファミリーパークプラザ（週 1 回勝道上人太鼓の例会のみ使用）での利用しかなされていない状況であります。

当地域会議においても地域課題として今後検討し意見等を提案したいと考えておりますので、今後の有効な利活用のため市と地域会議が意見交換できる検討委員会などを組織し検討できるよう調整願います。

⑦ ふるさとセンターの機能強化

現在、ふるさとセンターの管理は嘱託職員 2 名で対応しているところがあります。しかし、現体制では施設の有効活用、維持管理、リスク管理等において不足が生じているものと考えます。また、閑散期の集客率向上を検討すべく、民間企業のノウハウを利活用した指定管理者制度等を導入することを検討願います。

⑧ 地産地消を利用したサービス事業の展開

地元で生産・加工した農産物を、つがの里内で販売・料理の提供を検討願います。また、定期的なトラック市などを開催することで、消費者と生産者の距離が身近に感じられるようなコミュニティの構築を検討願います。地元住民が消費者及び生産者としてつがの里に足を運ぶことで、コミュニティが形成され地元の活性化にも繋がっていくのではないかと考えますので検討願います。

当地域会議の意見は以上となります。多種の意見を出ささせていただきましたが、当地域会議の構成委員は、地域自治会連合会、商工会、地域女性会、地区民生委員児童委員協議会、PTA 連合会都賀、スポーツ協会、文化協会、認定農業者協議会、まちづくりネットワーク『つが』、有識者、公募者などが選出され、都賀地域の課題解決や発展を願う地域住民のトップ集団でありますので、意見聴取などについても積極的に協力していくものであることを申し添えます。